

学位プログラム DP レビュー

2023 年度 人間形成学科

1. 現状の説明

①授業実施評価レポート

成績評価アンケートの結果について、教務・共通教育部会から報告を受け、学科内で内容の検討を行った。各質問項目について、2021 年度は、10～25%程度の学生が「一つ二つ」の科目について成績評価の不満を感じていたが、今年度は、最も高いものでも1年生の回答した「客観性の不足する科目」が「一つ二つ」（15%）であり、どの学年もすべての項目において改善傾向にあったと考えられる。

ただし、1年生、2年生は、昨年度よりも少ないものの、いずれの項目についても成績評価に関する不満を表明した者が存在した。ごく少数であるため、学生自身の理解不足に起因することが考えられるが、引き続き1年生を中心として丁寧に成績評価に関する説明を実施していくことで対処することとした。

自由記述においては、授業内での指示の一貫性及び、具体性に対する指摘があったため、担当教員にその内容を伝え、次年度に向けて改善を依頼した。

2022 年度前期・後期の全科目の成績分布のグラフからは、特筆すべき点は見出されなかった。学生の授業に対する取り組みが良く、また教員の成績評価も妥当であることがうかがわれる。

受講者数の極端に少ない科目は、本学科の展開科目にはなかった。

以上を踏まえ、成績分布及び受講者数については大きな問題が認められないと判断した。ただし現状を維持できるよう、成績評価の方法が両コース会議において再確認された。

②DP アンケート

昨年度の報告では、2021 年度心理コースの卒業生が、公認心理師資格に係る心理実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを全て履修した初めての学年だったため、実習を通して心理的支援の難しさを、身をもって体験したことで、DP アンケートの「5. 文献や調査、実験などを通して導いた自分の考えを適切に表現する」ことおよび、「10. 様々な立場にある人々に対する心理的または教育的な援助のスキルの修得」という項目の得点が下がったことが一つの可能性であると考察した。しかし、今年度はすべての項目において5点満点中4.3以上という結果となり、昨年度4.3であった全体平均も4.5と上昇した。昨年度低い結果となった項目5、10（3.8、3.9）も、4.3、4.5と改善している。これらは、2022年度に学生の実習指導を充実させてきた結果によるものと考えられる。今後も現状の取り組みを継続していく。

自由記述においては、概ね良好であった。ただし、コロナ禍による実践的な学習の制限が一定程度存在した。これについては改善の希望があったが、状況に応じて善処していきたい。

③進路・資格試験・留年・退学状況

卒業生の進路としては、52名の卒業生のうち44名の就職・進学希望者（就職34名・進学10名）は、全員進路が決定した。就職率、進学率とも100%となり非常に良好であると言える。34名の就職先は、「病院・福祉・保育園関係」が47.1%（16名（内私立保育園・幼稚園32.4%（11名））、「民間企業・団体等」が21.0%（7名）、「官公庁等」が32.4%（11名（内公立保育園・幼稚園21.0%（7名））、「大学院・専門学校等進学」が100%（10名）となっている。以上の就職・進学は本学科の「人間の心身の形成過程と教育およびその諸問題に関する総合的な研究・教育を行い、保育・幼児教育または生涯にわたる心理臨床などに携わる専門的な人材を育成する」という設置目的と概ね一致する傾向として評価できる。

こどもコースにおける保育士、幼稚園教諭一種免許状においては、22名全員が両方の資格、免許を取得した。

退学者においては、3年次1名、4年次1名であった。理由は、2020年度以降の新型コロナウイルス感染症による授業形態の変更や生活状況の変化等を要因として、精神的な健康状態の悪化や進路への迷い等から授業参加が滞っていた一部の休学学生が、2022年度に退学するに至った結果と考えられる。今後も、授業参加が滞っている学生や休学中の学生に対して、本人の状態に配慮しつつ可能な範囲で大学との接点を維持することにより、不本意な退学を避けるための支援を継続していく必要がある。

留年者は、2022年度は1名であった。理由は、精神的な健康状態の悪化によるものであった。本人の状態に配慮しつつ支援を継続していくこととした。

2. 2022年度対応プランの結果

2022年度は、授業実施評価レポートにおいて、成績評価の透明性、客観性への不満が全学年でやや目立ったことが課題であった。今後の対応プランとして、全体に向けてより丁寧な成績評価に関する説明をしていくこととした。その結果、今年度の成績評価アンケートでは、どの学年においてもすべての項目において改善傾向にあり、取り組みが功を奏したことが窺われた。

3. 今回の課題と対応プラン

①学生に対する成績評価方法の説明及び成績評価の方法のさらなる改善

現状維持及び、さらなる改善を図るため、全科目において、今後も丁寧な成績評価に関する説明を行っていく。

②授業内での指示の一貫性及び具体性の向上

シラバス通りの授業を展開することに加え、指示の内容に一貫性を持たせることを教員が意識して、授業に取り組む。

③進路・資格試験・留年・退学状況

退学者、留年者は減少傾向にあり、これまでの取り組みに一定の効果が認められる。引き続き、生活状況の変化等に配慮しながら、メディア授業を活用するなど授業形態を柔軟に変更することに加え、授業への参加が滞っている学生や休学中の学生に対して、本人の状態に配慮しつつ可能な範囲で大学との接点を維持し、不本意な退学、休学を避けるための支援を行う。

4. DP 達成状況のまとめ

以上、本学位について、成績分布は、学科としては特に問題なかった。一方学生の成績評価アンケートについても 2022 年度は改善傾向にあった。今後も、全体に向けてより丁寧な成績評価に関する説明をしていくことで、現状をさらに改善していきたい。さらに、DP においても学生に対する DP アンケートの結果では全項目の平均得点は 5 点満点中 4.5 という結果であり、良好かつ 2021 年度よりも改善の傾向にあった。このような取り組みを今後も続けていきたい。

添付資料

- ・ DP アンケート
- ・ 進路、資格試験、留年、退学状況（資料はこちらをクリック）
- ・ 授業実施評価レポート

人間形成学科ディプロマ・ポリシーアンケート結果報告

1.ディプロマ・ポリシーアンケートの結果

質問項目	平均値
1. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理学に関する専門的知識が増えた。	4.8
2. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理学における援助について理解できるようになった。	4.8
3. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理学に関する最近の話題（現代的課題）について自分なりに考えることができるようになった。	4.6
4. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理に関する諸問題に対して適切な対応プランを考えることができるようになった。	4.4
5. 入学時に比べて、文献を調べたり、調査・実験などを行ったりして自分の考えを適切に表現することができるようになった。	4.3
6. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理に関する課題を見つけ、検討することができるようになった。	4.4
7. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理学について学んだことを社会に活かしたいと思うようになった。	4.7
8. 入学時に比べて、保育・幼児教育的または心理的援助の場面で倫理を意識して行動することができるようになった。	4.5
9. 入学時に比べて、保育・幼児教育または心理に関する諸問題を検討するための方法を身につけることができた。	4.4
10. 入学時に比べて、様々な立場にある人々に対する心理的または保育・幼児教育的な援助のスキルを身につけることができた。	4.5
全項目平均値	4.5

自由回答

- ・専門に合わせてたくさんの先生が教えてくれたので良かった。
- ・もっと実践的な授業作ってほしい
- ・子どもコースでも心理の専門教員から心理について学ぶことができたことが良かった
- ・体験を元にされた講義をうけることができ、より実践的な学びを得ることができたと同時に、実際に現場でどのようにすべきかイメージしやすくなった。
- ・コロナ禍だったこともあり、実践練習があまりできなかつたように感じるため、実践を増やしていけたら良いと思います
- ・少人数で質問しやすく良かった。
- ・ピアノがずっと不安だったが、丁寧に優しく教えられたので、とても良かったです。
- ・専門知識やスキルを学ぶことが出来たと思います

2.結果について

すべての項目において5点満点中4.3以上という結果でした。昨年度4.3であった全体平均も4.5と上昇しました。昨年度低い結果となった項目5、10(3.8、3.9)も、4.3、4.5と改善していました。今後も学生指導について、継続的に取り組んでいってください。

自由記述においては、概ね良好でしたが、学生からはより実践的な教育を希望する声もあがっていました。コロナ禍での制限もあったと思いますが、今後の教育内容の改善を検討していくことも必要かもしれません。

授業実施評価レポート

2023 年度 心理コース・こどもコース

1. 2022 年度の状況

① 成績評価アンケート

成績評価アンケートの結果について、教務共通教育部会から報告を受け、学科内で内容の検討を行った。各質問項目について、2021 年度は、10～25%程度の学生が「一つ二つ」の科目について成績評価の不満を感じていたが、今年度は、最も高いものでも1年生の回答した「客観性の不足する科目」が「一つ二つ」（15%）であり、どの学年もすべての項目において改善傾向にあったと考えられる。

具体的には、妥当性、公平性の不足する科目について、3年生、4年生は、ほとんどの学生が「ない」と回答しており、評価が大きく改善したことがうかがわれる。一方、1年生、2年生は、昨年度よりも少ないものの、いずれの科目についても複数名の学生が「一つ二つ」と回答していた。特に1年生の人数が多いことから、大学の成績評価に対する理解や知識の不足が影響している可能性が考えられた。また、「透明性が不足する科目」に関してはいずれの学年でも複数名が「一つ二つ」と回答していることが特徴である。これらのことから、引き続き1年生を中心として丁寧に成績評価に関する説明を実施していくこととした。

自由記述においては、少数だが授業内での指示の一貫性及び、具体性に対する指摘があったため、担当教員にその内容を伝え、現状の取り組みについて確認した。必要に応じ次年度での改善を依頼した。

② 成績分布及び受講者数

2022 年度前期・後期の全科目の成績分布のグラフからは、特筆すべき点は見出されなかった。学生の授業に対する取り組みが良く、また教員の成績評価も妥当であることがうかがわれる。

受講者数の極端に少ない科目は、本学科の展開科目にはなかった。

以上を踏まえ、成績分布及び受講者数については大きな問題が認められないと判断した。ただし現状を維持できるよう、成績評価の方法が両コース会議において再確認された。

2. 2022 年度授業実施評価レポート対応プランの結果

22 年度は、以下の 1 点について計画し、実施してきた。

- ① 成績評価の透明性、客観性への不満が全学年でやや目立ったことが課題であった。今後の対応プランとして、全体に向けてより丁寧な成績評価に関する説明をしていくこととした。

対応の結果

①について、プラン通り、各教員が初回授業にて丁寧な説明を実施した。それを受けて、今年度の成績評価アンケートの結果は、どの学年においてもすべての項目において改善傾向にあった。

3. 対応プラン

- ① 学生に対する成績評価方法の説明及び成績評価の方法のさらなる改善

現状維持及び、さらなる改善を図るため、全科目において、今後も丁寧な成績評価に関する説明を行っていく。

- ② 授業内での指示の一貫性及び具体性の向上

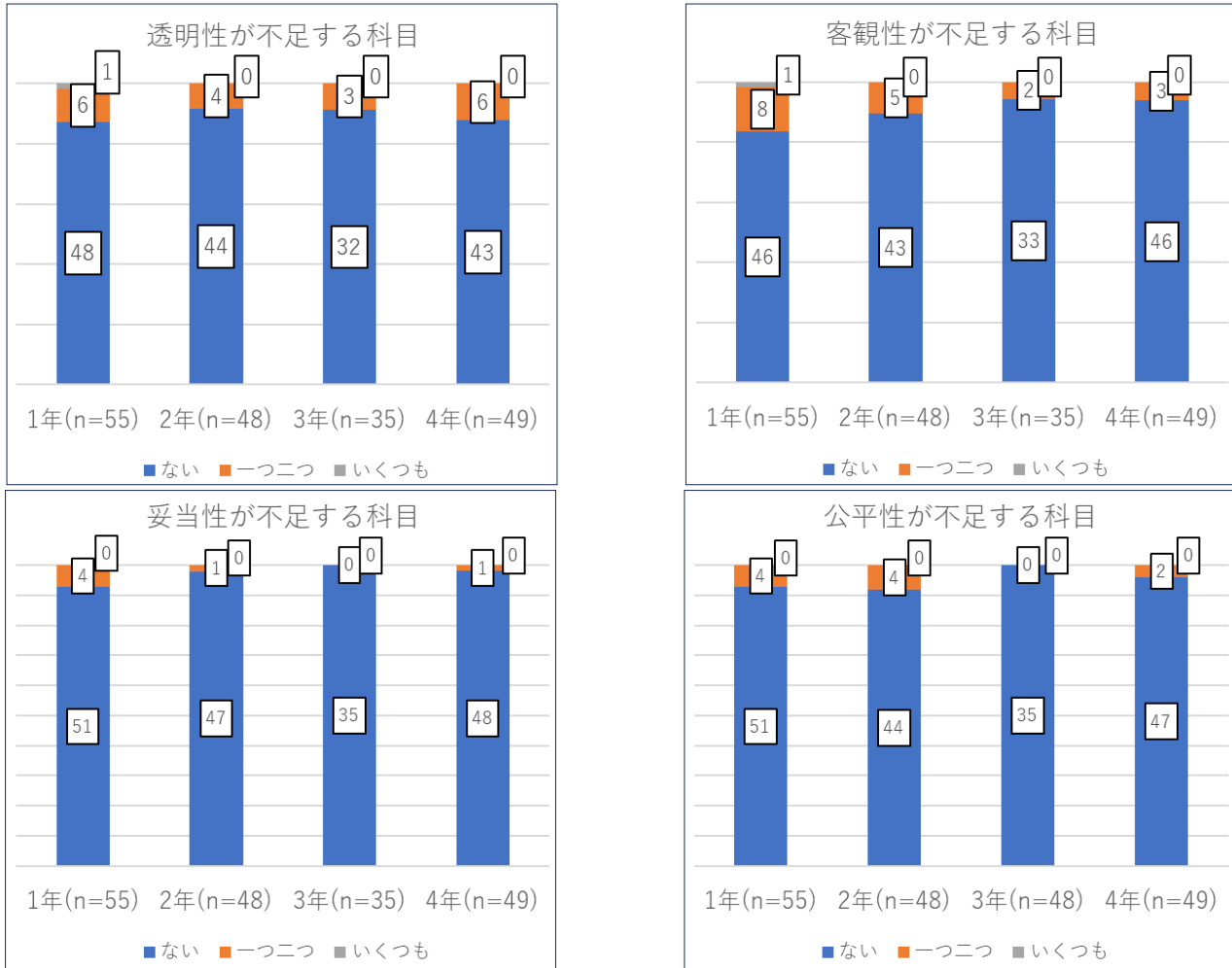
シラバス通りの授業を展開することに加え、指示の内容に一貫性を持たせることを各教員が意識して、授業に取り組む。

添付資料

- ・人間形成学科成績評価アンケート結果
- ・人間形成学科科目成績分布及び受講者数
- ・人間形成学科カリキュラムマップ
- ・カリキュラムツリー（心理コース、こどもコース）

人間形成学科成績評価アンケート結果報告

1.成績評価アンケートの結果



2.結果について

各質問項目について、昨年度は、10～25%程度の学生が「一つ二つ」の科目について成績評価の不満を感じていました。しかしながら、今年は、最も高いものでも1年生の回答した「客観性の不足する科目」が「一つ二つ」(15%)であり、どの学年もすべての項目において昨年度より改善傾向にあると考えられます。具体的には、妥当性、公平性の不足する科目について、3年生、4年生は、ほとんどの学生が「ない」と回答しており、評価が大きく改善したことが窺われます。一方、1年生、2年生は、昨年度よりも少ないものの、いずれの科目についても複数名の学生が「一つ二つ」と回答していました。特に1年生の人数が多いことから、大学の成績評価に対する理解や知識の不足が影響している可能性が考えられます。また、「透明性が不足する科目」に関してはいずれの学年でも複数名が「一つ二つ」と回答していることが特徴です。これらのことから、より丁寧に成績評価に関する説明をしていくことが必要だと思われます。特に1年生への説明や、成績評価の透明性の改善について、学科内でご検討をください。また、自由記述においては、授業内での指示の一貫性及び、具体性に対する指摘があります。ご検討のほどよろしく申し上げます。

2023年7月19日

人間形成学科（心理コース・こどもコース） 殿

教務共通教育部会長

上野 行良

人間形成学科専門教育科目および関連科目 受講者数及び成績結果状況報告

2022年度の人間形成学科専門教育科目および関連科目の受講者数及び成績結果をお知らせします。

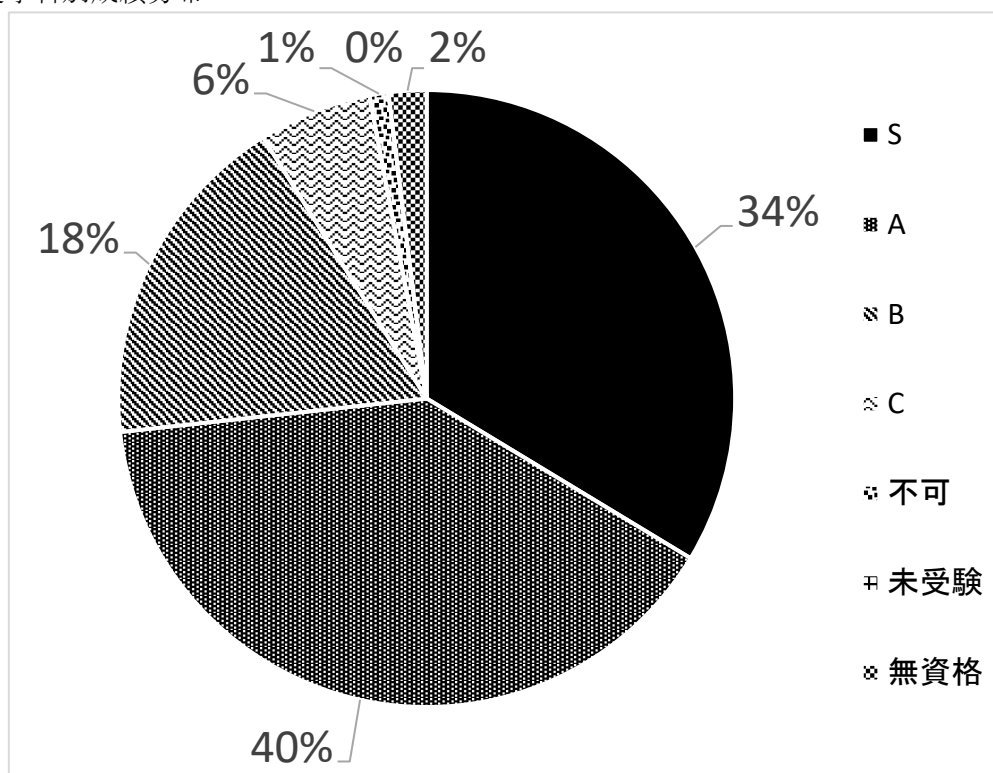
結果について

1. 2022年度前期・後期の全科目の成績分布のグラフからは、特筆すべき点は見出されませんでした。
2. 成績に「不可」が多い科目は特にありませんでした。参考までに、「不可」が受講者数の1割を超えていた科目は、「保健医療福祉行政論Ⅰ（関係行政論）」（4名）の1科目だったことを報告します。
3. 受講者数10名を超える科目において、成績Sが受講者数の3分の2を超えていた科目（演習・実習科目を除く）は「老年期医学」の1科目でした。ただし、本科目は2022年度をもって廃止されています。

※本コメントは、問題点を指摘するものではありません。問題がないかを確認し、問題がない場合はこれで妥当であることを説明できるようにしてください。改善すべき点が見いだされた場合には、具体的な対策を立てられてください。

（添付資料）

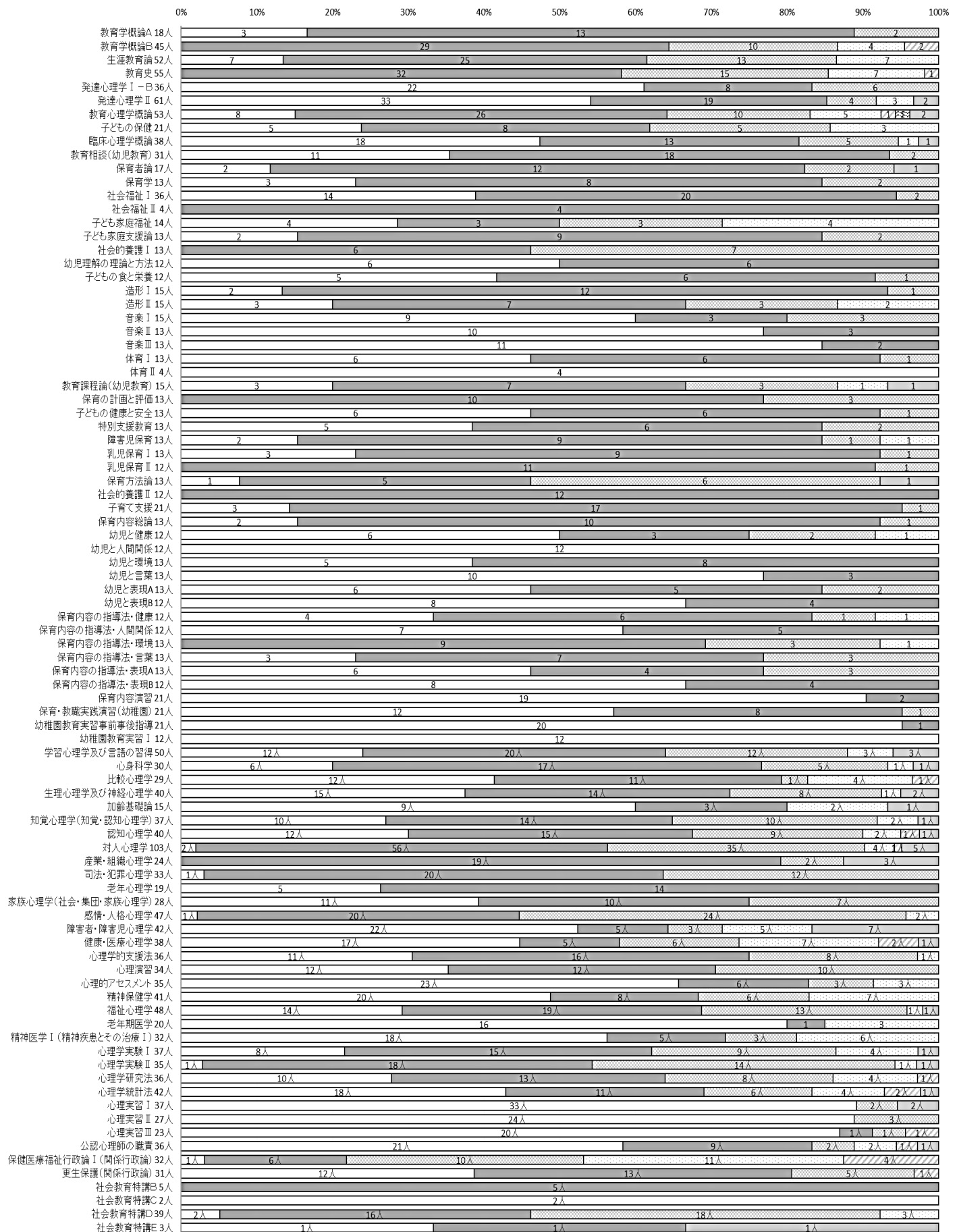
1. 2022年度学科別成績分布



2. 各授業の成績分布

各授業の成績分布

□S □A □B □C □不可 □未受験 □無資格



別表第6 人間形成学科専門教育科目

区分	授 業 科 目	単 位		授 業 方 法	開 講 時 期 (標 準 履 修 年 次)				備 考	DP1	DP2	DP3	DP4
		必 修	選 択		1年次	2年次	3年次	4年次					
基 幹 科 目 * 1	教育学概論A		2	講義	2				2科目いずれか・選択必修 Aは保育士・幼免必修	○			
	教育学概論B		2	講義	2					○			
	教育史	2		講義		2				○			
	生涯教育論	2		講義		2				○			
	発達心理学Ⅰ-A		2	講義	2					○			
	発達心理学Ⅰ-B		2	講義	2				保育士・幼免必修	○			
	発達心理学Ⅱ	2		講義	2				公認心理師必修	○			
	教育心理学概論(教育・学校心理学)		2	講義		2			公認心理師必修	○			
	子どもの保健		2	講義	2				保育士必修	○			
	臨床心理学概論		2	講義			2		公認心理師必修	○			
	教育相談(教育・学校心理学)		2	講義				2	公認心理師必修	○			
	教育相談(幼児教育)		2	講義				2	幼免必修	○			
	教育制度論(関係行政論)		2	講義			2		幼免・公認心理師必修	○			
	展 開 科 目 (こ ど も コ ー ス)	保育者論		2	講義	2					○		
保育学			2	講義		2				○			
社会福祉Ⅰ			2	講義	2					○			
社会福祉Ⅱ			2	講義			2			○		○	
子ども家庭福祉			2	講義		2				○			
子ども家庭支援論			2	講義		2				○	○		
社会的養護Ⅰ			2	講義		2				○			
子ども家庭支援の心理学			2	講義		2				○			
幼児理解の理論と方法			2	☆演習			2		* 2	○	○		
子どもの食と栄養			2	演習			2		* 2	○	○	○	
造形Ⅰ			1	演習	1				* 2		○		
造形Ⅱ			1	演習	1				* 2		○		
音楽Ⅰ			2	演習	2				* 2		○		
音楽Ⅱ			1	演習		1			* 2		○		
音楽Ⅲ			1	演習		1			* 2		○		
体育Ⅰ			1	演習		1					○		
体育Ⅱ			1	演習			1				○		
保育カリキュラム論			2	講義		2				○	○		
子どもの健康と安全			1	演習		1			* 2	○	○		
特別支援教育			1	演習		1				○	○	○	
障害児保育			2	☆演習		2				○	○	○	○
乳児保育Ⅰ			2	講義		2				○			
乳児保育Ⅱ			1	演習			1		* 2	○	○		
保育方法論			2	講義			2			○			
社会的養護Ⅱ			1	演習			1		* 2	○	○	○	
子育て支援			1	演習				1	* 2	○	○		
保育内容総論			2	☆演習		2			* 2	○	○	○	
幼児と健康			1	演習			1		* 2	○	○		
幼児と人間関係			1	演習			1		* 2	○	○		
幼児と環境			1	演習		1			* 2	○	○		
幼児と言葉			1	演習		1			* 2	○	○		
幼児と表現A			1	演習		1			* 2	○	○		
幼児と表現B		1	演習			1		* 2	○	○			
保育内容の指導法・健康		1	演習			1		* 2	○	○	○		
保育内容の指導法・人間関係		1	演習			1		* 2	○	○	○		
保育内容の指導法・環境		1	演習		1			* 2	○	○	○		

	保育内容の指導法・言葉	1	演習		1		* 2	○	○	○	
	保育内容の指導法・表現A	1	演習		1		* 2	○	○	○	
	保育内容の指導法・表現B	1	演習		1		* 2	○	○	○	
	保育内容演習	2	☆演習			2	* 2	○	○	○	○
	保育・教職実践演習(幼稚園)	2	☆演習			2	* 2		○		○
	幼稚園教育実習事前事後指導	1	実習		1		* 2		○	○	
	幼稚園教育実習Ⅰ	2	実習		2		* 2		○		○
	幼稚園教育実習Ⅱ	2	実習		2		* 2		○		○
	保育実習指導Ⅰ	2	演習		2		* 2		○	○	
	保育実習Ⅰ	4	実習		4		* 2		○		○
	保育実習指導Ⅱ-A	1	演習		1		* 2		○	○	
	保育実習Ⅱ-A	2	実習		2		* 2		○		○
	保育実習指導Ⅱ-B	1	演習		1		* 2		○	○	
	保育実習Ⅱ-B	2	実習		2		* 2		○		○
心理 コース	学習心理学及び言語の習得(学習・言語心理学)	2	講義	2				○			
	心身科学	2	講義	2				○			
	比較心理学	2	講義	2				○			
	生理心理学及び神経心理学(神経・生理心理学)	2	講義	2				○			
	加齢基礎論	2	講義	2				○			
	知覚心理学(知覚・認知心理学)	2	講義		2			○			
	認知心理学(知覚・認知心理学)	2	講義		2			○			
	対人心理学	2	講義	2				○			
	社会心理学(社会・集団・家族心理学)	2	講義	2			公共社会学科・社会福祉学科の「社会心理学」と共通	○			
	産業・組織心理学	2	講義		2			○			
	司法・犯罪心理学	2	講義	2				○			
	老年心理学	2	講義		2			○			
	家族心理学(社会・集団・家族心理学)	2	講義		2			○			
	感情・人格心理学	2	講義	2			公共社会学科・社会福祉学科の「人格心理学」と共通	○			
	障害者・障害児心理学	2	講義		2			○			
	健康・医療心理学	2	講義	2				○			
	心理学的支援法	2	講義	2			* 3	○			
	心理演習	2	☆演習		2		* 3 演習時間: 22.5時間		○	○	
	心理的アセスメント	2	☆演習		2		* 3		○	○	
	精神保健学	2	講義	2			社会福祉学科の精神保健学Ⅰと共通	○			
	福祉心理学	2	講義	2				○			
	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2	講義	2			社会福祉学科の「医学概論」と共通	○			
	老年期医学	2	講義		2			○			
	精神医学Ⅰ(精神疾患とその治療Ⅰ)	2	講義		2		社会福祉学科の「精神医学Ⅰ」と共通	○			
	精神医学Ⅱ(精神疾患とその治療Ⅱ)	2	講義		2		社会福祉学科の「精神医学Ⅱ」と共通	○			
	心理学実験Ⅰ	2	☆演習	2			* 3		○	○	
	心理学実験Ⅱ	2	☆演習	2			* 3		○	○	
	心理学研究法	2	講義	2				○			
	心理学統計法	2	講義	2				○			
	心理実習Ⅰ	1	実習	1			* 3 実習時間: 30時間		○		○
	心理実習Ⅱ	1	実習		1		* 3 実習時間: 30時間		○		○
	心理実習Ⅲ	1	実習		1		* 3 実習時間: 30時間		○		○
	公認心理師の職責	2	講義	2			* 3	○			
保健医療福祉行政論Ⅰ(関係行政論)	1	講義	1			看護学科の「保健医療福祉行政論」と共通	○				
更生保護(関係行政論)	2	講義		2		社会福祉学科の「更生保護」と共通	○				
人的資源管理論(関係行政論)	2	講義	2			* 4 総合人間社会コースの「人的資源管理論」と共通	○				
社会統計学Ⅰ	2	講義	2				○				
データ処理とデータ解析Ⅰ	1	演習		1		* 4		○	○		
データ処理とデータ解析Ⅱ	1	演習		1		* 4		○	○		
関連 科目	社会教育論	2	講義	2				○			
	図書館情報学	2	講義		(2)	2	隔年開講	○			
	国際教育文化交流論	2	講義		2			○			
	社会教育特講A	2	講義	2				○			
	社会教育特講B	2	講義		2			○			
	社会教育特講C	2	講義		2			○			
	社会教育特講D	2	講義	2				○			
	社会教育特講E	2	講義	2				○			
	キャリア論	2	講義		2		* 4	○			
	情報数学	2	講義	2			* 4	○			
	Webデザイン演習	1	演習	1			* 4		○		

ロ	プログラミング概論		2	講義		2		* 4	○			
	情報ネットワーク論		2	講義		2		* 4	○			
	データベース論		2	講義		2		* 4	○			
	プログラミング演習		1	演習			1	* 4		○		
	情報検索システム論		2	講義			2	* 4	○			
	問題解決演習		1	演習		1		* 4		○		
	組織マネジメント		2	講義			2	* 4	○			
	ビジネス倫理		2	講義			2	* 4	○			
	個人情報法制		2	講義			2	* 4	○			
	演習	2		演習			2			○	○	○
卒業論文	6		演習			6			○	○	○	

- 注1：授業方法欄の「☆演習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業となる。
- 2：「* 1」の基幹科目は必修科目6単位および選択必修科目2単位を含み、合計18単位の修得を卒業要件とする。
- 3：「* 2」はこどもコース、「* 3」は心理コースの学生のみ履修できる科目。
- 4：「* 4」は総合人間社会コースの科目。

	1年次	2年次	3年次	4年次
--	-----	-----	-----	-----

発達・支援
方法の理解

保育・教育の
基礎的理解

<ul style="list-style-type: none"> ■発達心理学Ⅰ-A ●発達心理学Ⅰ-B ■発達心理学Ⅱ ■子どもの保健 	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども家庭支援の心理学 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの食と栄養 ◆幼児理解の理論と方法 ■臨床心理学概論 	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育相談（幼児教育）
<ul style="list-style-type: none"> 教育学概論A ●保育者論 ■社会福祉Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> 教育史 ◆生涯教育論 ●保育学 ■子ども家庭福祉 ■子ども家庭支援論 ■社会的養護Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育制度論（関係行政論） 	<ul style="list-style-type: none"> ■社会福祉Ⅱ

保育内容
(基礎技術)

<ul style="list-style-type: none"> ●音楽Ⅰ ●造形Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ●造形Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽Ⅱ ●音楽Ⅲ ●体育Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ●体育Ⅱ
--	--	--	--

保育内容
保育方法

<ul style="list-style-type: none"> ●保育カリキュラム論 ■子どもの健康と安全 ■乳児保育Ⅰ ◆特別支援教育 ■障害児保育 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育方法論 ■社会的養護Ⅱ ■乳児保育Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て支援
---	---	--

保育内容
(領域と指導法)

<ul style="list-style-type: none"> ●保育内容総論 ●幼児と環境 ●幼児と言葉 ●幼児と表現A ●保育内容の指導法・環境 ●保育内容の指導法・言葉 ●保育内容の指導法・表現A 	<ul style="list-style-type: none"> ●幼児と健康 ●幼児と人間関係 ●幼児と表現B ●保育内容の指導法・健康 ●保育内容の指導法・人間関係 ●保育内容の指導法・表現B 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育内容演習
---	--	---

研究

<ul style="list-style-type: none"> ■保育実習Ⅰ・Ⅱ-A/B ■保育実習指導Ⅰ・Ⅱ-A/B ◆幼稚園教育実習事前事後指導 ◆幼稚園教育実習 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育・教育実践演習（幼稚園） 	
ゼミ（卒業論文）	演習	卒業論文

教養

人文科学・社会科学・自然科学・複合領域
外国語（必須／選択）情報処理・健康科学・基礎ゼミ 等

主な
学修内容

<ul style="list-style-type: none"> 教養科目+ 保育・教育の基礎+ 基礎技術（音楽・造形） 	<ul style="list-style-type: none"> 教養科目+ 保育・教育の基礎+ 保育の方法と内容 	<ul style="list-style-type: none"> 保育・教育の基礎+ 保育の方法と内容+ 実習+演習（ゼミ） 	<ul style="list-style-type: none"> 保育・教育の支援法+ 保育・教育の総合演習+ 卒業論文（ゼミ）
---	--	---	---

学科基幹科目（下線）

- 保育士資格科目
- ◆幼稚園教諭免許科目
- 保育士資格・幼稚園教諭免許共通科目

3年6月 保育実習Ⅰ（保育所）
3年9月 保育実習Ⅰ（施設）
3年10月 幼稚園教育実習Ⅰ
3年2月 幼稚園教育実習Ⅱ
3年3月 保育実習Ⅱ-A（保育所）
または保育実習Ⅱ-B（施設）

2023年度 1~4年生 カリキュラム・ツリー (履修モデル)

			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
心理専門科目	心のしくみを知る	学習・知覚			学習心理学…		知覚心理学… 認知心理学…				
		生理			心身科学 比較心理学	生理心理学… 加齢基礎論					
	心を支える	発達・教育	発達心理学Ⅰ-A 発達心理学Ⅰ-B	発達心理学Ⅱ		教育心理学概論…	老年心理学				
		臨床			障害者・障害児 心理学 司法・犯罪心理学 心理実習Ⅰ	公認心理師の 職責 健康・医療心理学 心理実習Ⅰ 心理学的支援法	臨床心理学概論 心理実習Ⅱ	心理演習 心理的アセスメント 心理実習Ⅲ	教育相談… 教育相談 (幼児教育) 心理実習Ⅲ		
		医学・保健	精神保健学	医学概論… 福祉心理学			精神医学Ⅰ	精神医学Ⅱ			
	人と関わる	社会・産業	対人心理学	社会心理学…				産業・組織心理学	家族心理学…		
	心理学の基礎を学ぶ	基礎知識	心理学概論	感情・人格心理学							
		研究法・統計			心理学統計法 社会統計学Ⅰ	心理学研究法	データ処理と データ解析Ⅰ	データ処理と データ解析Ⅱ			
		実験・演習			心理学実験Ⅰ	心理学実験Ⅱ	心理学演習 (ゼミ)		卒業論文		
隣接領域科目	いろいろな見方・考え方を学ぶ	学科基幹科目 (心理専門科目以外)	教育学概論B	子どもの保健	教育史	生涯教育論		教育制度論…			
		学科展開科目 学科関連科目	社会福祉Ⅰ	社会教育特講D	障害児保育 子ども家庭福祉 乳児保育Ⅰ	社会教育論 社会教育特講E 人的資源管理論 保健医療福祉 行政論Ⅰ…	社会教育特講B	更生保護… 子ども家庭支援論 キャリア論	社会福祉Ⅱ		
		他学科開設科目 両学部で学ぶ 専門的連携科目	社会福祉学概論Ⅰ 不登校・ひきこも り援助論 社会調査法	社会福祉学概論Ⅱ 子供学習支援論	社会病理学 家族社会学A	家族社会学B					
基礎科目：学ぶ基礎づくり		基盤教育科目	人文科学・社会科学・自然科学・総合科目・外国語 (必須/選択)・情報処理・健康科学・基礎ゼミ								